

## R4年度 3学期 始業式 校長講話

みなさん、新年あけましておめでとうございます。新しい年、令和5年、2023年がスタートしました。この冬休みはどうでしたか。楽しく元気に過ごすことはできましたか。宿題やお勉強も頑張りましたか。校長先生は、このように、みなさんと一緒に第3学期の始業式を迎えられたことを心よりうれしく思います。

新しい年を迎え気持ちを新たにするとともに、今日から3学期が始まります。そのような今日に、校長先生の好きな言葉を1つ紹介したいと思います。

先月12月には、東京パラリンピックの女子車イスバスケットボールで活躍された、さんが東ときわ台小学校へ来てくださり、4年生から6年生までの皆さんにいろいろと教えてくださりました。

その、東京オリンピック・パラリンピックが行われたときに、よく流れていたCMに出てきた印象的な言葉がありましたので、今日はそれを紹介します。

「その挑戦が、( )を変える。」

挑戦とは、何か新しいことに、難しいことに、できなかったことに、やってみようと思って立ち向かっていくということです。さて、( )には、どのような言葉が入るでしょうか。

答えは、「未来」という言葉が入ります。挑戦することによって、苦手にしていたりできなかったりしたことができるようになるかもしれません。挑戦してみることで、きっとこれから先、あなたの未来はより良いものになるでしょう。そして、ここにいる一人ひとりの挑戦が集まることで、クラスや学校がより良いものになり、世の中が変わり、未来が変わっていく、そういった意味が込められていると思います。3学期は1年間の中で1番短い学期ではありますが、みなさんもぜひ、いろいろなことに挑戦して、さらに力をつけ、たくましく、しなやかに、ぐんぐん成長してもらいたいと思います。まずはやってみる、ということが大事です。

3か月後の4月1日に、6年生は中学生という新たな道に進んでいます。1～5年生も一つ学年があがります。良いことと悪いことの判断をしっかりとし、お友達を大切に、どういう自分でありたいかをしっかりと考え、それに近づけるよう、この3学期を充実したものにしてください。そして、ここにいるみんなで力を集めて、3学期はこれまで以上にもっともっと楽しい学期になるように、みなさんで力を合わせて頑張っていきましょう。

これで、校長先生のお話を終わります。3学期も一緒に頑張っていきましょう。